

【出展者セミナー】もし**製造業**のためのITシステムが**リスクゼロ**で作れるとしたら。

----- こんな内容をお話します。

中小製造業がITシステムを開発しようとする、リスクがたくさんあります。数百万から数千万かかるし、失敗することも多い。時間もかかる。これらはすべてリスクです。今日は**こういったリスクをほぼゼロにする**というお話をします。

実はいま、ある工場で、**設備の稼働状況をリアルタイムに記録**しています。実はこの工場では、あとどれくらい注文をさばけるのか、わからなかった。そこで、どれくらいの稼働時間でどれくらい加工できるのか、人によるバラツキはどれくらいあるのかを見るためにITシステムを入れています。これによって、納期を守りつつ注文を増やし、売り上げを伸ばそうという目論見です。

会社様によっては、設備は空いているが仕事が取れない、というところもあるでしょう。そういうところでは、例えば過去数日の稼働実績をホームページに掲載して、短納期を強調してもいいかも知れません。設備の稼働状況はクラウドに送っていますので、これを自動で加工してホームページに掲載できるようになっています。

工場によっては**人が集められなくて困っている**かも知れません。ならば、人数を増やさずにもっと効率的に作業できないか。こういったことも、設備の稼働状況と、カメラの記録を分析しておこなうことができます。細かい点ですが、カメラの記録だけではダメで、まずデータで日時を絞り込んでから映像をみると、非常に効率が悪いです。もちろん、これらは人がやってもいいのですが、時間ももったいないですし、ITなら毎日自動的にやってくれます。ですから、こういったことにはITシステムを使っていただきたいわけです。

ですが、最初に申し上げたように、ITシステム開発には失敗も多い。なぜ失敗するのか。**失敗しないために発注側ができることはあるのか。**

まず「発注側も受注側も、ほとんどの人は**プロジェクトを失敗させたいとは思っていない**」というのは同意いただけますでしょうか。であれば、発注側の方が認識しないといけないのは**リスク管理**です。

たとえば典型的なのは**予定より早く進んでいるから、もう少し機能を増やそう**。これはリスクを認識していない発言です。予定より早く進んでいるとき、機能を追加すると、そのまま進むのと、リスクが小さいのはどちらか。その場の思いつきで、きちんと検証されていないものを追加するというのは、非常に大きなリスクとなりますから、プロジェクトが失敗しても文句は言えません。予定よりも早く進んでいると「**見積りが慎重すぎたんだ、本当はもっと行ける**」と思ってしまうかも知れませんが、それは大きな間違いです。

では例えば「**どの業者にするかをよく検討して決める**」はどうでしょう。実際にやるのは難しいと思いますが、「有望な3社を選定したら、まずそれぞれがいちばん得意なところだけを予算の1/10で作ってもらい、その結果を見て残りをどこに頼むか決める」のと、どちらがリスクが小さいでしょうか。誤解しないでいただきたいのですが、相見積りを取るのではなく、それぞれの会社が何に強くて何に弱いのかを見極めるということです。連絡の仕方が自社に合っていると、そういうことは実際に仕事してみないとわかりません。会議室でいくら慎重に議論しても、**実際に仕事を出してみても得られる情報のかわりにはなりません**。小回りの利く中小企業こそ、こういうことをやっていただきたい。

何を作るのかを、自分たちだけで決めてしまうという会社様もいないでしょうか。「社内で打ち合わせて、この内容に決めました」というやつです。皆さんが家を建てるとき、「家族で相談してこの間取りに決めました、この通りに建ててください」と工務店に持っていったら、いい家が建つでしょうか。このやり方の問題点は、**受注側が持っている知識を、発注側が利用できない**ことです。ではどうするかというと、項目毎に複数の選択肢を用意し、それぞれの選択肢にメリット・デメリットを書き出して、場合によってはもっといい選択肢がないかを考える必要があります。

最初に見積りを出して、その予算とスケジュールで行くというのは一般的ですが、これは本当にリスクが低いのでしょうか。確かに、「金額が増えないよう、契約でしっかり縛っておく」というのはある種のリスクを減らします。しかし、「**発注側に間違いがあった場合に、教えてもらえない**」という形で大きなリスクを取るようになります。段階的に進めていき、学んだことを次のステップに反映させていくのと、どちらがリスクが低いでしょうか。どれも、よく考えれば道理だが、実際にやるのは難しいものばかりだと思います。こういうことは、実際にプロジェクトに参加して学ぶしかないので、ほとんどの人は、**そんなにたくさんのプロジェクトを経験する機会**がありません。

そこできもと特急電子設計では、**数人のチームで実際にIT開発プロジェクトをおこない**、どんなところで失敗するのか、どうすればいいのかを学ぶ勉強会を企画しています。基本的には2週間ごとに、どうシステムを作るかをチームで決めていただき、きもと特急電子設計が次回までにリリースしますので、それを見て期待通りだったか判断し、次のステップを決める、という流れになります。これを4回(2ヶ月間)おこないます。

きもと特急電子設計では、低コスト短納期で作れる仕組みを用意していますので、参加費を抑えて、プロジェクトの経験を積んでいただけるようにしています。勉強会にご関心のある方は、このあとぜひ声をかけてください。個人的には、これからの経営者は、ITシステム開発が当たり前になることを求められるのではないかと思っています。そして、**中小製造業でもITシステムは導入できるし費用も抑えられる**ということを知っていただきたいと思っています。ご質問のある方は、このあときもと特急電子設計のブースまでお越しください。**緑色の電光掲示板**の出ているブースです。ありがとうございました。

2/5(水) 13:00-A会場にお越しください

きもと特急電子設計 代表 木元 峰之 <https://kex.jp/> 0120-220-447

